

1 情勢報告

○『芳生野営農生産組合』拡大総務部会の開催



会合の様子

1月10日、芳生野営農生産組合で、総務部会員以外の役員も参加して、23年度総会に向けた会合を持ちました。

振興センターから、23年度事業実績の取りまとめや、決算、その後の利益剰余金の分配、24年度活動にあたり総会での決定が必要な事項などについて、提案・助言を行い、役員で検討しました。

参加した役員の中で、総会資料として作成が必要なものや、総会に提案するために役員会で検討が必要な事項などが共有されました。

今後も、2月の総会開催や事業実施について支援を行っていきます。

○JA津野山園芸部出荷反省会の開催



分科会（ナス部会）

1月20日、JA津野山営農センター「輝」で、園芸部（ナス部会・ミョウガ部会・シントウ部会（甘とうを含む））の出荷反省会が開催されました。

前半は部会ごとの分科会、後半は3部会合同での全体会という2部構成で行われました。

分科会では、今年度の気象・生育状況の振り返りや、試験結果の報告等を行い、来年度に向けての栽培改善方策の検討がなされました。

全体会では、園芸部全体における個々の経営規模と収支の関係について説明しました。生産者の方々は、他の品目の経営について知る機会はありませんためか、興味深く資料を見ておられました。

今後も振興センターは、JAと連携し、津野山地域の園芸農業発展のための支援を行っていきます。

○JA土佐くろしおインゲン部会現地検討会の開催



1月12日、中土佐町と須崎市の篤農家圃場で現地検討会が開催されました。現地検討会には40戸の農家が参加し、病虫害や摘葉についての情報提供、今冬の気象にあわせた栽培管理の指導が行われました。

両方の会場に参加する人も多く、地域を超えて情報交換が行われました。特に摘葉については、今年の生育にあわせた方法を細かく説明し、初心者を中心に参加者同士でも活発に検討が行われました。

次の現地検討会は2月に予定されています。今後も振興センターは部会全体の技術向上のための支援を行っていきます。

○JA土佐くろしおキュウリ部会現地検討会の開催



現地検討会の様子

1月11日と18日に、須崎地区の篤農家4圃場で現地検討会が開催され、両日で39名の参加がありました。

検討会では、地区担当営農指導員から篤農家の現在の栽培管理や特に気を付けている点等について説明があり、その後、種苗会社や営農指導員、振興センターより厳寒期管理について説明を行いました。

特に本年は、キュウリの生育が思わしくない圃場も多いことから、厳寒期管理の徹底について再認識されました。

振興センターでは今後とも関係機関と連携し、現地検討会を継続的に開催し、篤農技術の移転や栽培指導により、安定生産に向けて支援していきます。